令和7年度第1回 蓮田市高齢者福祉計画等策定委員会会議録

- ・ 日 時 令和7年7月30日（水） 午後1時30分～午後3時00分
- ・ 場 所 市役所3階301会議室
- ・ 出席委員
深田康孝、藤本鎮也、多々良彰、小倉徳之、水品順子、坂口洋子、田辺雅治、
萩原建作、平賀栄美子、阿部ミチヨ
- ・ 出席職員（事務局）
健康福祉部 森上部長
長寿支援課 中地副主幹、古賀副主幹、大熊副主幹、福森主査、金子主任、田中主任
- ・ その他の出席者
株式会社名豊 政策2課 池上課長
- ・ 傍聴者 なし
- ・ 会議内容
  - 1 開会…森上部長
    - ・ 委員の交代について
  - 2 委嘱式…加藤副市長
  - 3 あいさつ…加藤副市長
  - 4 自己紹介
  - 5 委員長・副委員長の選出
    - 委員長に藤本委員、副委員長に水品委員選出。
    - ・ 会議成立の報告
    - ・ 傍聴人有無の報告…無
  - 6 議事
    - (1) 「蓮田市高齢者福祉計画2024・第9期介護保険事業計画」における「令和6年度進行管理調書」について（報告）
      - 「蓮田市高齢者福祉計画2024」の「令和6年度進行管理調書」について、事務局から説明を行った。

【シルバー人材センターの経営について】
委 員：シルバー人材センターについて、コロナ禍以前の状況に戻ったと説明があったが、経営状況はどうか。

事務局：契約実績額が前年を上回っており令和6年度の目標を達成していること、会員数が前年より増加していること等を鑑み、順調な経営と思われる。

【老人クラブについて】

委員：会員数が大幅に減少しているが、原因は。

事務局：会長のなり手がなく、解散したクラブがあったため。近年、自治会の解散の影響により単位老人クラブが存在しない地区もある。そういった点が課題であるため、今後、会員増加に向けて周知等に努めていきたい。

○進行管理調書の年度表記の誤りについて委員から指摘があったため事務局より訂正。

【緊急通報システム事業について】

委員：通報の件数は。

事務局：令和6年度の実績として、救急搬送につながった緊急通報は27件、緊急性の低い体調相談などは78件あった。

【救急医療情報キットについて】

委員：「情報更新を呼びかけ更新作業の補助に努める」とあるが、具体的にはどのような方策か。

事務局：民生委員から配布しているものなので、7月の民生委員の地区長会において、改めて配布方法や情報更新の方法について周知を行った。各地区長から地区定例会でご説明いただく予定。また、8月号の広報に救急医療情報キットの記事を掲載し、更新作業の補助に努めている。

○「第9期介護保険事業計画」の「令和6年度進行管理調書」について、事務局から説明を行った。

【努力支援交付金について】

委員：実績報告によって、交付金が昨年度から約250万円増加したということは、国がどう評価しているかわからないが、評価項目で市の事業が前進しているということか。

事務局：評価方法としては、どのような事業でどの程度の人数が参加したかなど、細かい項目を回答していくことで、積み上げ方式で点数がつく形になっている。例えばこのような会議で意見をいただくことも評価対象となっている。

【施設の入所待ちについて】

委員：「認知症対応型共同生活介護」について、昨年度から数名増えているが、施設の入所待ちは出ているか。

事務局：事業所ごとの差があり、人気のある施設は、入所待ちが数名程度出ている。入所者の死亡や入院等による退所もあるため、すべての施設で常時満床というこ

とはなく、空きの出ている施設もある。

【総合的な相談支援・権利擁護事業について】

委員：相談内容はどのような内容が多いのか。

事務局：相談内容については様々あるが、介護保険に関するもの、生活、家族に関するものが多い。初回の相談ではっきりと問題点を相談できないことも多く、話を聞く中でだんだん問題点が整理され、焦点の絞られた相談につながるケースも多い。

【介護相談員派遣事業について】

委員：コロナ禍のため令和3年度は0回、その後令和4年度は19回、令和5年度は39回と増えているが、令和6年度は28回と回数が減少している。相談員の人数は変わらないとのことだが理由は。

事務局：昨年度まで事業を受け入れていた施設には継続してお願いしているが、新規で依頼した事業所との調整がつかなかったり、相談員の体調不良により中止となったり等の理由で回数が減少した。

【通院・入院時あんしんセットについて】

委員：「通院・入院時あんしんセット」とはどのようなもので、その普及のためのパンフレットなどがあるのか。

事務局：通院・入院時に必要なものをあらかじめ一緒のケース等に準備しておくことを啓発するために配っているもので、普及のためのチラシも作成している。（セットの）表面は久喜市、白岡市、宮代町と合同で作成しており、裏面の家族の連絡先などは蓮田市独自で作成した。市役所窓口での配布、ホームページからのダウンロードほか、医療関係者等から必要な方へ配布している。

【「現状の評価」の評価方法について】

委員：1から4までの評価項目があるが、誰がいつ評価するのか。

事務局：進行管理調書は毎年作成しており、令和6年度分は令和7年5月頃から作成する。評価の目安としては、計画値または前回の実績値と比較して今回実績値が上回ったものは「1. 十分できた」をつけている。

【努力支援交付金について】

委員：前年度より250万円増加しているが、具体的に何が評価されたのか。

事務局：特段この事業が評価されたというのではなく、1つ1つの事業の積み重ねにより結果として金額が増えたという形になる。

委員：（進行管理調書の）「十分できた」が10個増えたとか、そういった視点で評価されたのか。

事務局：進行管理調書と努力支援交付金における評価は必ずしも一致するものではない。努力支援交付金は国から示された調書で回答するため、結果的に進行管理調書の「現状の評価」も良くなったというところもあると思われる。進行管理調書は市の高齢者福祉計画・介護保険事業計画のものであり、努力支援交付金は国が重点を置く事業を推進するものである。完全に一致するものではないが、もちろんリンクするところもある。

委員:どのような部分が努力支援交付金において評価されたのかわかる資料があれば、点数が取れていない項目の見直しも含めて、計画を策定するためには(参考の資料として)いいのではないかと思うので、わかりやすい形で示していただきたいが、いかがか。

事務局:細かく説明するのは難しいが、概要であれば報告させていただくことはできる。

(2) 次期計画について(説明)

- 次期計画について、株式会社名豊から説明を行った。
- ・事務局から議事録の公開について説明。

7 閉 会…水品副委員長